

北海道師範塾 「教師の道」 塾頭通信

第822号 平成26年10月21日

君は「ルフィ」になれるか？（1）

「ルフィ」というのは、いわずと知れた漫画の「ONE PIECE」に登場するヒーローの名前です。

「ONE PIECE」は、少年「ルフィ」が、かつて偉大なる航路を制した海賊王「ゴールド・ロジャー」が遺した「ひとつなぎの大秘宝（ワンピース）」を手に入れるために、仲間と共に様々な敵と戦いながら海賊として成長して行く冒険ファンタジーです。



「ONE PIECE」を出版している集英社によると、日本国内のみならず世界中で読まれており、単行本の累計発行部数は3億冊を超えたとの事で、この「ONE PIECE」に対する人気ぶりは異常ではないかと感じてしまいます。

「ONE PIECE」がこのように多くの読者から支持を得ている事に関して、6月13日付の朝日新聞紙上で3人の方が「君はルフィになれるか」と題して論評していますが、この事一つとっても、「ONE PIECE」人気が一つの社会現象となっていると改めて強く感じます。

まず、食品や化粧品事業を展開しているユーグレナという会社の社長の出雲充氏は、自分とルフィとを重ね合わせながら、「仲間がいるから夢追える」と述べています。

出雲社長は、ミドリムシ由来のジェット燃料を開発するという壮大な夢を抱き、仲間と共にその実現に向け取り組んでいます。「泳げないルフィが夢のために様々な能力を持った仲間を集めたように、僕も仲間がいなければ何もできなかった」と述べています。

また彼は、「気心知れた仲間とワクワクする夢に向かって生きる手応えを感じる事が、最も高い優先順位に位置付けられている。そこにリアリティを感じます」と述べています。

仲間と同じ夢を抱きながら突っ走っている、出雲社長らしい感想といえますし、「仲間がいるから夢追える」という彼の言葉には、仲間と共に北海道師範塾という活動をしている私自身にとっても、頷けるものがあります。

一方、人材コンサルタントの常見陽平氏は、「ワンピースは商品としては素晴らしい」が、しかし、「作品として見ると、私の場合は苦手だ」と述べています。その理由は「地に足がついている感じがしないから」というものです。

常見氏は、「ワンピースは、夢を信じて自己実現する事を全面的に肯定する物語だが、夢を持ったルフィと仲間達が乗っている居心地の良い海賊船は、現実の世界では存在し得ない」と述べています。

私も、「ルフィ」とその仲間達のような人間関係が作れたら凄い力を発揮するだろうなとは思いますが、ほとんどの人は社会の仕組みや組織の中に埋没してしまっているのが現実です。そのような中では、命がけで自分の夢を追い求めるとか、我が身をなげうって仲間を助ける等というのは、残念ながら誠に稀有な事だといわざるを得ません。(続く) (塾頭：吉田 洋一)